



「袴田事件の無罪判決と再審法改正」を求める市民集会 戦争法廃止!裏金政治を終わらせよう 9.19 日比谷集会&デモ

9月19日(木)、東京・日比谷野外音楽堂において「『袴田事件の無罪判決と再審法改正』を求める市民集会」と「戦争法廃止!裏金政治を終わらせよう9.19日比谷集会&デモ」が開催されました。当日は9条連をはじめとした多くの市民やJR総連の各単組、東労組の各地本から仲間が多く結集しました。集会を通じえん罪の無い安心して暮らせる社会を作るための声と、軍拡・戦争推進政策・憲法改悪の流れを止め、平和な社会を作るための声を上げてきました。集会終了後には銀座でパレードを行い、多くの市民にえん罪を無くし戦争の無い平和な社会を作る声を訴えてきました。

《袴田事件とは?》

- ・ 1966年6月に味噌製造会社専務宅が全焼し、焼け跡から刃物で刺された4名の遺体が発見された。警察は当初から味噌工場従業員である袴田巖氏を犯人と決めつけ捜査を進め、8月に袴田氏を逮捕した。
- ・ 連日の厳しい取り調べにより自白をした。その後の公判では自白を否認している。
- ・ 公判の中で警察から証拠として出された、味噌樽から発見された血液が付着していた衣服をDNA鑑定で調べたところ、袴田氏のものでも被害者のものでもないことが判明している。他に出された証拠も袴田氏の犯行を証明に乏しく、警察の決めつけにより、袴田氏を犯人に仕立て上げた「えん罪事件」である。
- ・ 私たちJR東労組が「えん罪・浦電事件」で無実を勝ち取るたたかいを進める中で、同じえん罪で苦しむ仲間として署名や集会参加を通じ連帯している。
- ・ 裁判のやり直しを行う再審公判は計15回開催され、判決は9月26日に出る予定。

《19 行動とは?》

- ・ 2015年9月19日に、安保法制(戦争法)が強行成立させられた。
- ・ 安保法制の廃止を求め多くの市民や労組が集まり、毎月19日に国会前で集会を行っている。今回の9月19日は強行成立から9年経った区切りの日となる。
- ・ 安保法制とは「自衛隊法改正案」など10の法律の改正案を一つにまとめた「平和安全法制整備法案」からなる。集団的自衛権の容認、自衛隊の活動範囲や武器使用の拡大など、自衛隊が米軍と一緒に海外で戦闘行為を行うことが可能となる法律。

えん罪と戦争の無い社会を創るため、政治に関心を持ち、今こそ行動しよう!